

PTAのスリム化と 充実した活動の両立を目指して

瀬戸・
こうりょう
光陵中PTA



瀬戸市立光陵中学校では共働き世帯の増加や考え方の多様化などにより、年々PTAの運営が難しくなってきました。近年は生徒数の減少に伴い、にない手の不足が大きな課題となっています。そこでコロナ禍の活動停止期間に組織・活動内容を精査し、スリム化を図りました。具体的には執行部以外の専門部を廃止し、広報誌なども廃止しました。活動もみんなが協力しやすい活動にしぼり、「朝のあいさつ活動」と「リサイクル活動」のみを実施することにしました。

思春期を迎え、心と体が大人に近づいている生徒らにとって、大人と接する時間や環境は有益になると思っています。そのためには、保護者と教師のみならず地域のかたがたの力も必要です。現在、学校運営協議会および地域学校協働活動（コミュニティスクール）との連携や協力について模索しています。

今後も負担感なく大人の力を効率よく、生徒に還元できる環境をつくりたいと思います。



保護者は、家の近くの集積場でリサイクル活動を手伝います。



あいさつ活動にて、各交差点で生徒の登校を見守ります。



保護者・生徒・先生で力を合わせてリサイクル活動を行います。

学校DATA

所在地●瀬戸市秋山台9の244 生徒数●213人 周辺環境●昭和48年開校。全国的にも珍しいカタカナの校訓は、アンビシャス（夢）、プライド（誇り）、フレンドシップ（友愛）。平成26年、敷地内に瀬戸特別支援学校（中・高等部）が開校し、日常的にインクルーシブな環境にある。

学校サイト

